様式３(2015.06改)

作成日　令和２年３月４日

# 外部評価軽減要件確認票

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | 2394900035 |
| 事業所名 | サンライフハートネス |

【重点項目への取組状況】

| | | 評価 |
|---|---|---|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２） | |
| | 地域のボランティアを受け入れ、毎月イベントを行っている。ハーモニカ演奏、フラワーアレンジメント、絵手紙等の講師がボランティアとして来訪している。<br>新たに中学生の福祉体験学習の受け入れを開始し、1回目は2年生が5名、2回目は1年生が3名訪れた。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３） | 評価 |
| | 毎偶数月の第3水曜日に運営推進会議を開催しており、年間6回の開催である。<br>家族代表、市の職員、地域包括支援センター職員、民生委員等が集まり、ホームからの報告に続き、誤薬・転倒事故や新型コロナウイルスに関する意見交換を行っている。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：４） | 評価 |
| | 運営推進会議には市の担当者や地域包括支援センターの職員が参加しており、ホームの状況は行政に伝わっている。<br>市が主催する2ヶ月ごとの「管理者会」や、毎月の「居宅連絡会」には、管理者が参加している。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６） | 評価 |
| | 運営推進会議への家族の参加は少ないが、介護計画の更新時の説明時には、ほとんどの家族がホームを訪問し、意見や要望を伝えている。<br>ホームイベントの「夏まつり」や「クリスマス会には、多くの家族が集まり、利用者との会食を楽しんでいる。<br>「ハートネス便り」が毎月発行され、家族のもとに送られている。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|---|---|
| ２．事業所と地域のつきあい | （例示）<br>①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| ３．運営推進会議を活かした取り組み | （例示）<br>①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。<br>②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| ４．市町村との連携 | （例示）<br>①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| ６．運営に関する利用者、家族等意見の反映 | （例示）<br>①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。<br>②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |